

第9回 中・高等学校 交渉コンペティションへの参加

The Junior/Senior High School Negotiation Competition [December 2025]

[2025年12月]

2025年12月20日（土）東京都立戸山高等学校で開催された「第9回 中・高等学校 交渉コンペティション」に、上水高校の2年次生有志の5名が参加しました！

高等学校の公民科では、「現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力」を養うことを目指しています。

2017年に発足した「中・高等学校交渉コンペティション」は、これらの力を育成するイベントです。アメリカ全土のロースクールでほぼ必修科目となりつつある「交渉学」の考え方や技能を中高生の段階から身に付けることが重要だ、という問題意識から、法学・教育学の研究者の方々、高等学校の先生方が連携して、大会が企画・運営されています。

上水高校は、今回初めて大会に参加することになりました。



【中・高等学校交渉コンペティション】
(The Junior/Senior High School Negotiation Competition)

<https://sites.google.com/view/negocompetition/>

参考：【大学対抗交渉コンペティション】
(Intercollegiate Negotiation Competition)

<https://www.negocom.jp/>

大会参加を希望する生徒たちは、8月の夏期講習で「交渉」について学びました。このとき、中・高等学校交渉コンペティション実行委員の埼玉大学教育学部准教授の小貫篤先生に、オンライン講義をしていただきました。

「交渉」というと、自分にばかり有利になるように相手を言い負かす、というイメージがあるかもしれませんが、しかし、そうではなく、相手を「問題解決の協力者」と考え、双方にとって満足できる解決策をさぐる「協調型交渉モデル」というものがあることを、小貫先生に教えていただきました。



交渉コンペティションはチームの対抗戦です。11月の下旬、大会の準備を始めました。今回の問題は「入会地をめぐる住民と企業の交渉」。ある村のリゾート開発を計画する「企業」か、住民である「村民」が大会実行委員会から指定されます。上水高校チームは「企業」を担当することになりました。対戦校は「村民」を担当します。「共通事項」と、それぞれの「秘密事項」が事前に配布され、相手の交渉内容を想像しながら準備をすすめました。



大会が近づいてきました。

対戦校を想定して、
先生方を相手に
練習を行いました。
(国語、英語、公民の
先生です→)





今回の大会は、東京都立戸山高校が会場でした。参加26チームのうち、遠方の学校はオンラインでの参加のところもありました。上水高校チームの「交渉」の部屋では、弁護士の先生と小学校の先生が審査員としてジャッジしてくださいました。

～上水高校チームの生徒の感想です～



初めての経験で、なかなかうまくいかないこととかやりきれない部分とかありましたが、今回このような機会に参加することができて、とても良い経験になりました。ふとした思い付きを、自分だけのものにせずに仲間同士で共有できたのが良かったです。

自分の意見を通すことより相手と話し合っってよりいい案を出すことの大切さを学べて良い経験になった。パワーポイント資料があれば、ただ言葉で聞くより頭に残りやすいと思ったからもう少し凝れば良かったと思った。



対戦相手の説明やパワーポイントが上手で驚いた。いい経験になった。

双方が納得するような交渉をするのがとても難しかったけど、とても楽しかった。

相手の準備の用意周到さに驚きました。多少不利なところはあったけどお互い120%の結果に終われてよかった。事前に準備して相手との交渉に臨むという経験は今後に生かせそうないい経験になったと思います。相談タイムである程度方向性を決めることができてよかったです。



東京ジャーミィ・ディヤーナト トルコ文化センターへの校外学習

Field Trip to Tokyo Camii and Diyanet Turkish Culture Center [November 2025]

[2025年11月]

2026年1月18日～24日に上水高校の1,2年次生4名が、「令和7年度都立高校生等の海外派遣研修 ダイバーシティコース マレーシア」に参加します。マレーシアの国の宗教はイスラーム教。派遣研修の事前学習としてイスラーム文化を学ぶために、東京ジャーミィ・ディヤーナト トルコ文化センター（東京都渋谷区）を訪れました。この日は世界史探究（2年次）、世界史演習（3年次）を学んでいる希望者も加えて、1年次から3年次までの生徒7名が「日本語ガイド付きツアー」に参加しました。イスラーム文化の歴史の説明をうかがってから、礼拝場の中に入って礼拝を見学しました。最後に、砂を使った、トルコのコーヒーマシンの淹れ方の実演を見ました。生徒の感想です。

- * 「チューリップがトルコ原産だったとは知らなかった」
- * 「女性はスカーフで髪を隠すとき、前髪までしっかり隠すことがわかった」
- * 「お祈りの時、小さい子供が騒いでいても怒られたりしていなかったのも、優しいなと思った」
- * 「世界史で習ったことが、実際にこんな感じなんだな、と実感が持てた」

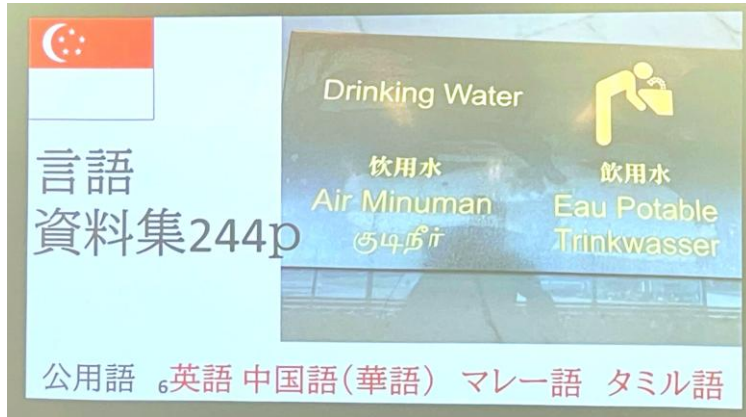
From January 18 to 24, 2026, four first- and second-year students from Josui High School will participate in the "FY 2025 Metropolitan High School Students Overseas Training Diversity Course in Malaysia". The national religion of Malaysia is Islam. As part of the preparatory learning for the overseas training, students visited the Tokyo Camii & Turkish Culture Center (Shibuya, Tokyo) to study Islamic culture. On the day of the visit, in addition to the students taking Advanced World History (second year) and World History Seminar (third year), a total of seven students from first to third year participated in a "Japanese-guided tour." After receiving an explanation on the history of Islamic culture, they entered the prayer hall to observe a prayer session. Finally, they watched a demonstration on how to make coffee using Turkish sand. Here are some of the students' impressions:

- * "I didn't know that tulips originally came from Turkey."
- * "I learned that when women cover their hair with a scarf, they should completely cover their bangs as well."
- * "During prayer, even if small children were making noise, no one got angry, which I thought was very kind."
- * "It made me realize that what we learned in World History actually happens like this."



地理総合

Geography



「多文化共生」について、先生が夏休みに教員派遣研修で訪問したシンガポールを題材に考えました。空港の飲用水の掲示には、多数の言語が見られますが、それぞれ何語でしょうか？

4つの公用語のあるシンガポールは、言語、宗教などの異なる人々が暮らす多民族国家です。

7月21日の民族調和の日（レイシャル・ハーモニー・デー）では、自分の民族衣装を着る、伝統舞踊や民族楽器の鑑賞・体験、民族料理の調理試食などが行われるそうです。

We thought about "multicultural coexistence" using Singapore, which our teacher visited for a teacher dispatch training during the summer holidays, as the subject. At the airport, drinking water notices can be seen in many languages, but which languages are they?

Singapore, which has four official languages, is a multi-ethnic country where people of different languages and religions live.

On Racial Harmony Day on 21 July, it seems that activities such as wearing one's own ethnic costume, watching and experiencing traditional dances and musical instruments, and cooking and tasting ethnic cuisine are carried out.

歴史総合

Modern and Contemporary History



第一次世界大戦後の世界について学びました。

トルコ共和国の初代大統領となったムスタファ・ケマルについて学んだあと、先生からの
「トルコは国民生活を西洋化するために、どのようなことを行ったのでしょうか？」
という問いについて、
生徒同士、相談して考えました。

We learned about the world after World War I.

After studying Mustafa Kemal, who became the first president of the Republic of Turkey, the teacher asked,
'What measures did Turkey take to Westernise the lives of its citizens?'
and the students discussed and considered this question.

日本史探究

Advanced Japanese History

承久の乱（1221年）は、後鳥羽上皇が鎌倉幕府の執権北条義時に対して挙兵し、幕府が朝廷に勝利した、日本の歴史の大きな転換点です。

「なぜ後鳥羽上皇は敗北したのだろうか？」という問いに対して、生徒たちは自分の考えを文章で表現していました。

「承久の乱の後、鎌倉幕府の執権北条泰時が御成敗式目を制定した目的とは？」という問いについては、史料を手がかりとしながら考えました。

The Jōkyū Rebellion (1221) was a major turning point in Japanese history, in which Emperor Go-Toba rose against Hōjō Yoshitoki, the shikken of the Kamakura shogunate, and the shogunate emerged victorious over the imperial court.

Students expressed their thoughts in writing on the question, 'Why did Emperor Go-Toba lose?'

Regarding the question, 'What was the purpose of Hōjō Yasutoki of the Kamakura shogunate in establishing the Goseibai Shikimoku after the Jōkyū Rebellion?' they considered the answer using historical sources as a guide.



世界史探究

Advanced World History

中世西ヨーロッパにおける封建社会の衰退について学習しました。「貨幣で地代を納めるようになったことは、農民にどのような影響を与えたのだろうか？」という問いについて考え、貨幣経済の浸透によって農民たちが力をつけ、荘園制度のしくみが衰退していったことに気づきました。

続いて、「火砲」の登場により、ヨーロッパの騎士の戦い方が変化したことについて学びました。

「武器としての火器は、いつ、どこで発明されたのか？」を予想しました。生徒から「蒙古襲来の『てつはう』を思い出したから、元！」という答えが出されました。

先生から「元の前時代の宋の時代に『火薬の発明』と書いてあるよ」と、資料集のページが示されると、「おお～！」という声が上がりました。火器が発明されたのはこの時代だったのか、という驚きと、国を越えた発明が影響を与えたんだな、という驚きでした。

We studied the decline of feudal society in medieval Western Europe. We considered the question, 'How did paying rent in money affect the peasants?' and realised that the spread of a monetary economy empowered the peasants and led to the decline of the manorial system.

Next, we learned about how the introduction of firearms changed the way knights fought. We predicted 'when and where firearms were invented.' One student answered, 'The Yuan, because it reminded me of the Mongol invasions and the 'teppou'!'

When the teacher pointed to a page in the textbook and said, 'It says 'the invention of gunpowder' in the Song dynasty, before the Yuan,' there were voices of surprise: 'Oh!' We were amazed that firearms had been invented in that era and that this invention, across countries, influenced Europe.



公共 Public



In 'Public Studies', students learn about ethics, politics and economics. At Josui High School, classes are conducted in collaboration with relevant external organisations.

In learning about elections, the Musashimurayama Election Commission provides lessons and students participate in a mock voting exercise using actual voting booths, ballot papers and ballot boxes.

In the field of economics, students enjoy learning through simulation games about the 'Antimonopoly Act' and 'market competition' provided by the Japan Fair Trade Commission.

During the summer course, students attended court sessions at the Tokyo District Court Tachikawa Branch, visited the Tokyo District Public Prosecutors Office Tachikawa Branch, and studied mock trial cases presented by prosecutors.

「公共」は、倫理、政治、経済を学びます。上水高校では、関連する外部の組織と連携した授業を実施しています。

選挙についての学習では、武蔵村山選挙委員会の方に授業していただき、実際に使う記載台や投票用紙、投票箱などを使用した模擬投票を行います。

経済分野の学習では、公正取引委員会の方による「独占禁止法」や「市場における競争」についての授業をシミュレーションゲームなどで楽しく学びます。

夏期講習では、東京地裁立川支部に裁判の傍聴に行きました。東京地検立川支部を見学し、検事による模擬裁判事例の学習も行いました。

政治・経済

Politics and Economy

「地方自治制度と住民の権利」について学びました。住民の声を行政に反映させるために、地方自治では、住民が直接請求できる制度があります。市町村合併など、重要な政策の実施に対する賛否を問う住民投票が行われた事例が紹介されました。

次に、地方財政の現状と課題について考えました。地方自治体間の税収入格差の是正と、地域活性化への取り組みとして行われている「ふるさと納税」の制度があります。自分の住んでいる市区町村で力を入れている政策と、自分の住んでいる市区町村の「ふるさと納税」について、ホームページや広報誌などで調べて、次回の授業で報告することになりました。

We studied "Local Government System and Residents' Rights." In order to reflect the voices of residents in administration, local governments have a system that allows residents to make direct requests. The teacher introduced examples where local referendums were held to ask for approval or disapproval of significant policies, such as municipal mergers.

Next, we considered the current state and issues of local finances. There is the 'Furusato Nozei' system, implemented as an effort to correct disparities in tax revenue between local governments and to revitalise regions. We are tasked with researching what policies our own municipalities are focusing on and what 'Furusato Nozei' is, using websites or newsletters, and reporting our findings in the next class.

